

プログラミング技術（電子情報科3年）

単位数	学年・クラス	使用教科書（出版社）	指導者
3単位	3年電子情報科	プログラミング技術 （実教出版）	電子情報科教員

教科・科目の目標

工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における工業の意識や役割を理解させるとともに、環境に配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	電気電子情報に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身に付けている。	電子情報に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	電子情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を見に付け、環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	電子情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を見に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	出席状況 学習態度 レポート ノート 自己評価表	設問解答過程 作品制作過程 レポート ノート 作品 発表会	作品・課題 レポート 作品 プレゼンテーション	レポート ノート プレゼンテーション

到達目標に向けての具体的な取組 【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】	課題解決的な実習課題を取り入れ、自ら考える機会を多くする。理解しにくい内容については、原理モデルによる説明などの工夫をして学ぶ意欲を持たせる。 2年次に学んだプログラミングに関する問題とも関連づけながら、問題解決能力を高める。 目標に達しない生徒には、放課後の時間等において、補習を実施し、学力の定着を図る。
---	--

月	単元名	単元の目標	単元ごとの評価規準		評価観点
4 5	構造体	構造体の理解 構造体の宣言 構造体へのデータの受け渡し	関心・意欲・態度	構造体を使ったC言語のプログラミングに関する諸問題について関心を持ち、その実習における向上を目指して、意欲的に取り組もうとしている。	
			思考・判断	構造体を使ったC言語のプログラミングに関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	
			技能・表現	プログラミング分野に関する基礎的・基本的な技術を見に付け、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現している。	
			知識・理解	プログラミングの各分野に関する基礎的・基本的な知識を見に付け、プログラミングを行うことの意義や役割を理解している。	
6	ファイル操作	ファイルの理解 ファイルポインタ	関心・意欲・態度	ファイル操作を使ったC言語プログラミングに関する基礎的・基本的な知識	

7		タの宣言 ファイルのオープン、クローズ ファイルへのデータの受け渡し		と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに創造的、実践的態度を身につけようとしている。
			思考・判断	ファイル操作を使ったC言語プログラミングに関する基礎的基本的知識を身につけ、諸問題の解決を目指して、自ら考え、知識と技術を活用し、創意工夫する能力を身につけている。
			技能・表現	ファイル操作を使ったC言語プログラミングに関する基礎的基本的知識を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に表現することができる。
			知識・理解	ファイル操作を使ったC言語プログラミングに関する基礎的基本的知識を身につけ、産業社会における物作り意義や役割について理解している。
8 9 10	Flash 基礎	Flash の概要 シンボル作成 モーショントゥーン	関心・意欲・態度	Flash 動画制作の基本的知識と技術について関心を持ち、意欲的に取り組むとともに創造的、実践的態度を身につけようとしている。
			思考・判断	Flash 動画制作に関する基礎的基本的知識を身につけ、諸問題の解決を目指して、自ら考え、知識と技術を活用し、創意工夫する能力を身につけている。
			技能・表現	Flash 動画制作に関する基礎的基本的知識を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に表現することができる。
			知識・理解	Flash 動画制作に関する基礎的基本的知識を身につけ、産業社会におけるコンテンツの意義や役割について理解している。
11 12	Flash 課題制作	動画の企画 flash 動画制作 発表会	関心・意欲・態度	与えられたテーマに沿った表現方法を模索し内容の改善を図っている。 習得した技術を活用しようとする。 発表に向けて発表方法や効果的な見せ方を考えている。
			思考・判断	習得した技術を適切に用いて、作品制作に活かす。 発表に備えてわかりやすい発表方法について検討し、成果を適切に表現することができよう自ら考え、創意工夫する能力を身につけている。
			技能・表現	習得した技術を適切に用いて、作品制作に活かす。 制限時間内にわかりやすい発表をしているか。
			知識・理解	制作過程で得られる生きたノウハウを身に付ける。 他の生徒の発表を見る事で自身の学習を深めると同時に、質疑応答から、問題点や今後の課題などを検討する。